

6 授業の成果と課題

～子どもと教材をつなぐ～

- 前時までの学習したことが掲示されており、児童が参考することができたのではないかと。
- シラバスがはっきりしており、何をするか児童が理解している。
- ノートづくりがしっかりとできている。きれいな書き方ができている。
- 板書や電子黒板の使い方が良かった。意見と理由の色を変えたのが見やすかった。
- 聞き取りメモを使って意見と理由に区別しやすい。
- 視点を明確（線の色前時の例）にしているので、1人学びがしやすい。
- 第4次の学級会の設定があるのがよい。（学んだことを活かす場があること。）
- 本時の学習に入る前に音読があればよいと思う。
- 本時の課題が2つのことを並べている。
- 本時の中心にやりたいことは？そのために意見と理由を分けるところは前時にコツを教える。
- サイドラインの引き方、メモの取り方は日頃から簡潔にさせる訓練が必要。
- 今年度からふりかえりを行うと決めたので、ふりかえりをさせたかった。



～子ども同士をつなぐ～

- 自分たちで進めていく素地ができている。
- 教師の介入が少なかった。
- 教科リーダーを中心に児童主体で活動することができていた。
- リーダーが主導して、みんなの意見をまとめることができていた。
- 5年、6年の進め具合をずらし、教師の関わる時間を工夫していた。
- 準備が丁寧にできている。日頃の子ども同士のつながりが分かる。
- 1人学びの質が高まらないと、子ども同士だけで考えを深め合うことは難しい。
- 5年生を小グループに分けて、意見交換させてもよかった。
- 人数が多いと多数決のように感じてしまう。もっと子ども同士を関わらせたい。
- リーダーが困った時に子どもたちがフォローできるようになるとよい。
- 理由をきちんと言えた子どもを評価できるようにする。